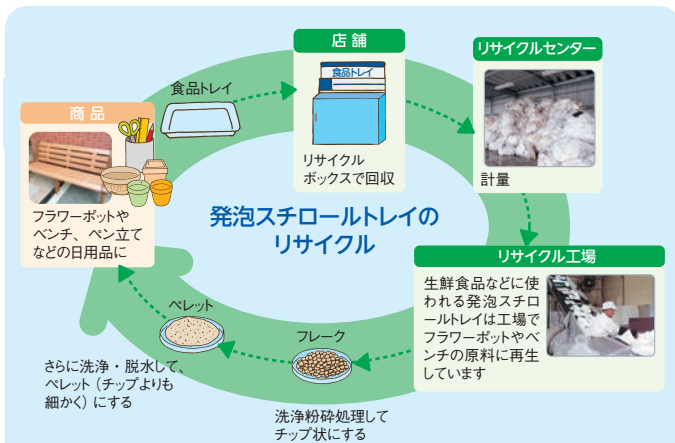


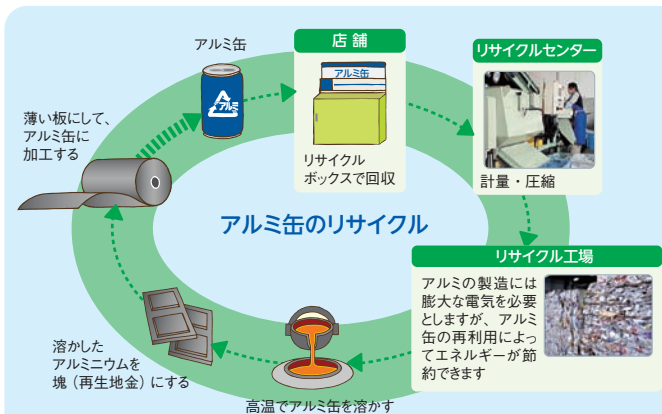


リサイクル量の推移

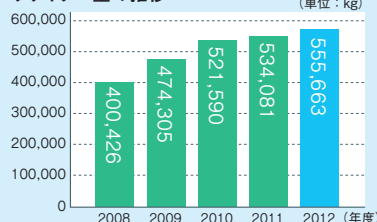


参加店舗数と参加率の推移

年度	参加店舗	食品取扱店舗	参加率 (%)
2008	224	224	100.0
2009	223	223	100.0
2010	223	223	100.0
2011	217	217	100.0
2012	217	217	100.0

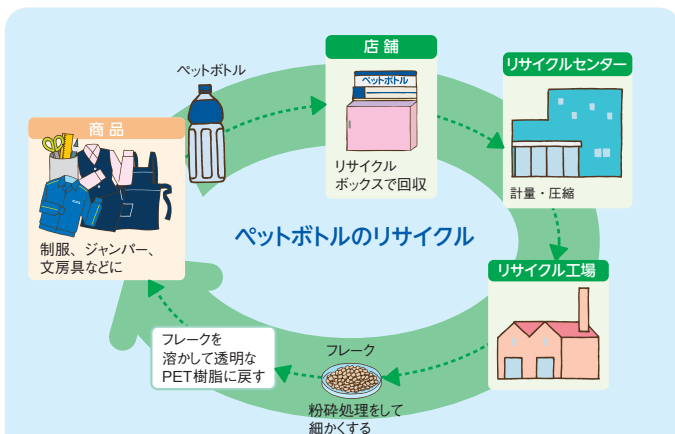


リサイクル量の推移

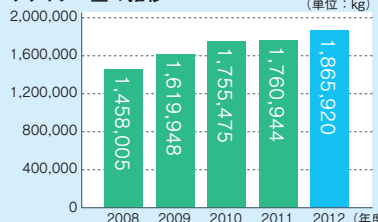


参加店舗数と参加率の推移

年度	参加店舗	食品取扱店舗	参加率 (%)
2008	143	224	63.8
2009	172	223	77.1
2010	173	223	77.6
2011	173	217	79.7
2012	177	217	81.6



リサイクル量の推移



参加店舗数と参加率の推移

年度	参加店舗	食品取扱店舗	参加率 (%)
2008	157	224	70.1
2009	172	223	77.1
2010	182	223	81.6
2011	178	217	82.0
2012	184	217	84.8

店頭回収の現状

リサイクルボックスでの回収実績

リサイクルボックスの回収実績は総回収量では102.8%と増加しています。特にペットボトルとアルミ缶は年々回収実績が増加しています。店頭回収した容器は、再生資源として有効にリサイクルされていることがお客様に理解されていることから、回収の量が増加していると考えられます。また、食品トレイは薄肉化、軽量化で軽くなっていること、牛乳パックは飲料品の容器が紙パックからペットボトルにシフトしているため回収量が減少していると考えられます。

ユニーでは国内でのリサイクルルートを構築し、さらにお客様に店頭回収に協力していただくための啓発に今後も努めていきます。

店頭回収量

	アルミ缶	牛乳パック	発泡トレイ	ペットボトル	店舗総合計
回収店舗数	177店舗	217店舗	217店舗	184店舗	—
回収店舗	81.6%	100%	100%	84.8%	—
全社合計	555,663kg	575,332kg	291,151kg	1,866,920kg	3,288,067kg
41期実績	534,081kg	598,709kg	304,644kg	1,760,944kg	3,198,378kg
前年比	104.0%	96.1%	95.6%	106.0%	102.8%

環境省「活かそう資源プロジェクト」

資源循環を具体的に知ってもらい、容器包装などを「ゴミにしないて活かす」ことをテーマにした環境省のプロジェクトです。

昨年に引き続き、今年もユニーのエコ博（今年は横浜市のアピタ長津田店）で、テーマ展を開催しました。お客様が資源回収に参加して集めた容器などが、具体的に何にリサイクルされているのかを実際に見ただき、再生資源として活かされていることを知ってもらいました。リサイクルへの関心が深まり、さらに資源循環が推進していけば、循環型社会が構築されます。



減装ショッピング

使用済み容器包装が家庭ごみの50%（容積）といわれ、できるだけ削減することが廃棄物削減の大きな課題です。そして商品の鮮度や品質を保全し、消費者が安全安心して商品を家庭に持ち帰っていただくための機能をもちつつ容器包装を削減しなければなりません。それにはメーカーが容器包装を環境配慮設計し、そうした商品を品揃えし、消費者が購入することで使用済み容器包装廃棄物を削減することができるという研究を進めている、神戸大学とNPOに協力し、実証試験に参加しています。

環境配慮設計した容器包装の商品やPOPにマークを付けて、消費者に分かりやすく表示し、その結果を検証しています。

